英文法 L01 第 32 講 動名詞の基本

学習目標

動名詞の基本形を理解し、主語・目的語・補語・前置詞の後ろで名詞として働くことを判断できる。

動名詞を含む語句のまとまりと、文脈から分かる動作の主体を捉えることができる。

1. 動名詞とは何か

定義

動名詞とは、動詞の語尾に原則として **-ing** を付け、名詞の働きをさせた形である。

動名詞は、動作を「〜すること」として表す。

例えば、read は「読む」という動作を表す動詞だが、reading は文中で「読むこと」という名詞の働きをする場合がある。

解説

動名詞の基本形は、動詞の **-ing 形** である。主な形を確認しよう。

動詞の原形	動名詞の形	基本的な意味
read	reading	読むこと
play	playing	遊ぶこと・（競技などを）すること
write	writing	書くこと
make	making	作ること
swim	swimming	泳ぐこと

read → reading のように、そのまま -ing を付ける場合がある。一方、write → writing や make → making では語尾の e を取り、swim → swimming では最後の m を重ねる。

ただし、**-ing 形であることだけでは動名詞と判断できない**。 動名詞かどうかは、その語句が文の中で名詞の働きをしているかによって判断する。

2. 動名詞が入る位置

解説

名詞は文の中で、主語・目的語・補語などになる。動名詞も名詞の働きをするため、これらの位置に置くことができる。また、前置詞の後ろにも置ける。

主語（S）は文が何について述べているかを示す部分、**目的語（O）**は動詞が表す動作の対象などを示す部分、**補語（C）**は主語などの内容や状態を説明する部分である。

動名詞は 1 語だけでなく、目的語や修飾語を伴ってまとまりを作ることもある。このようなまとまりを**動名詞句**という。

例えば、reading books は「本を読むこと」という意味の動名詞句であり、文の中で全体が名詞の働きをする。

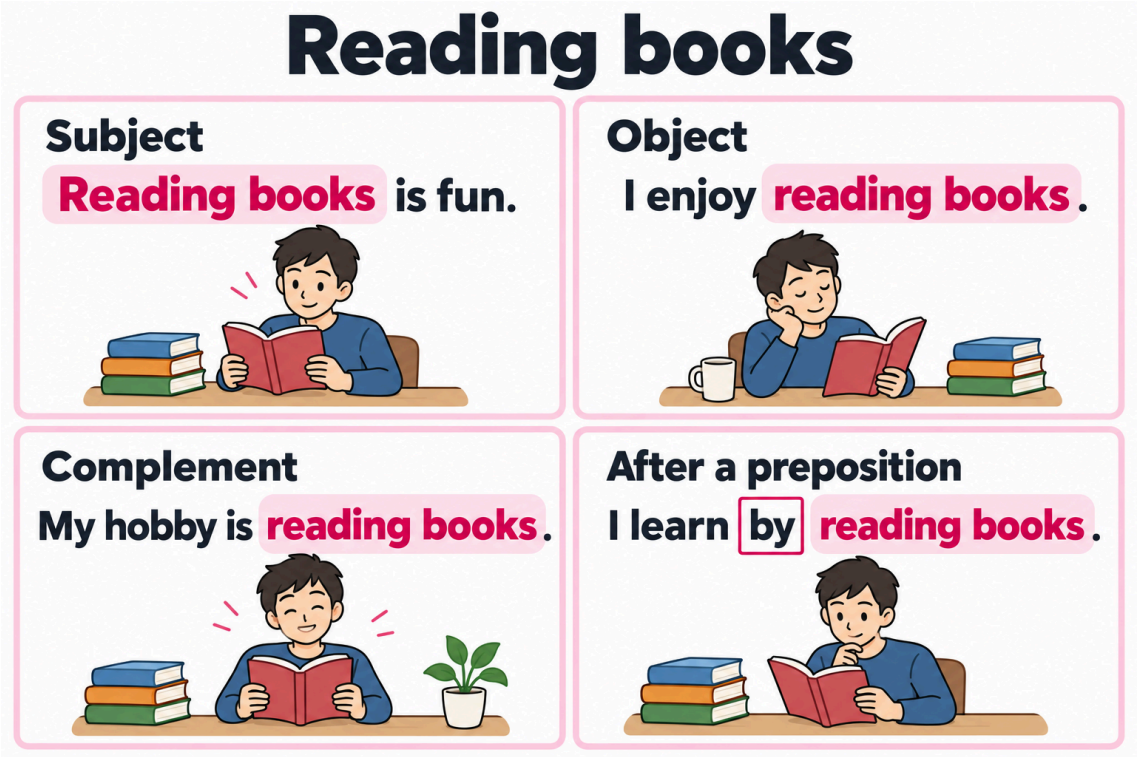


図 1　動名詞句が入る位置

図の題名 Reading books は「本を読むこと」を意味する。4 つの区分は、Subject が「主語」、Object が「目的語」、Complement が「補語」、After a preposition が「前置詞の後ろ」を表す。

それぞれの位置を英文で確認しよう。

Pair 1

Reading books is fun.

本を読むことは楽しい。

Pair 2

I enjoy reading books.

私は本を読むことを楽しむ。

Pair 3

My hobby is reading books.

私の趣味は本を読むことだ。

Pair 4

I learn by reading books.

私は本を読むことで学ぶ。

最初の文では、Reading books が主語（S）であり、「何が楽しいのか」を示す。is が動詞（V）、fun が補語（C）である。

2 番目の文では、reading books が動詞 enjoy の目的語（O）になっている。enjoy は、後ろに動名詞を置く基本的な動詞の一つである。この組み合わせは語法として覚える。

©ミライコーチング

3 番目の文では、reading books が My hobby の内容を説明する補語（C）になっている。My hobby が主語であり、is が両者を結んでいる。

4 番目の文では、reading books が前置詞 by の後ろに置かれている。ここでの by は「〜することで」という手段を表す。by reading books 全体で、どのように学ぶのかを説明している。

いずれの文でも、reading books はひとまとまりで扱う。ただし、**文の中で動名詞句全体が担う役割と、動名詞句の内部にある語の役割は別である**。

reading books の内部では、reading が「読む」という動作を表し、books はその動作の対象、つまり reading の目的語になっている。

最初の文では Reading books 全体が文の主語だが、books だけが文の主語なのではない。

ポイント

動名詞の基本的な位置は、次の 4 つである。

位置	動名詞句の働き	判断の手がかり
主語	文が何について述べるかを示す	動名詞句全体が主語になる
目的語	動詞が表す動作の対象などになる	動詞の後ろで名詞として働く
補語	主語の内容を説明する	be 動詞などの後ろに置かれる
前置詞の後ろ	前置詞の目的語になる	by・after・without・at などの後ろに置かれる

動名詞を見分けるときは、**形** → **位置** → **意味**の順に考える。まず -ing 形を確認し、次に文のどの位置にあるかを調べ、最後に「〜すること」として意味がつながるかを確かめる。

3. 前置詞の後ろに置く動名詞

解説

前置詞は、名詞や名詞の働きをする語句を後ろに伴い、ほかの語句との関係を表す。

動作を前置詞の後ろに置く場合、基本的には動名詞を使う。

Pair 1

After eating dinner, we watched a movie.

夕食を食べた後、私たちは映画を見た。

Pair 2

He went home without saying goodbye.

彼はさようならも言わずに家に帰った。

Pair 3

She is good at drawing pictures.

彼女は絵を描くことが得意だ。

after は「〜の後で」、without は「〜せずに」、be good at は「〜が得意である」という意味で使われる。

1 番目の文では after の後ろに eating dinner、2 番目の文では without の後ろに saying goodbye が置かれている。

3 番目の文では、be good at の at が前置詞であり、その後ろに drawing pictures が続いている。

このように、前置詞の後ろで動作を表すときは、動詞の原形をそのまま置いたり、単純に to + 動詞の原形 にしたりせず、動名詞の形を確認する。

注意

to 不定詞との関係

動名詞と to 不定詞は、どちらも名詞の働きをする場合がある。

そのため、「主語や目的語の位置には動名詞しか置けない」とは判断しない。どちらを使えるかは、文の構造や前後の語によって異なる。

一方、by reading のように前置詞 by の後ろで動作を表す場合は、動名詞を使う。

また、enjoy の後ろには動名詞を置く。このような動詞ごとの語法を、意味だけから無理に説明しようとせず、正しい組み合わせとして覚えることが必要である。

4. 動名詞句のまとまりと動作の主体

解説

動名詞は動詞から作られるため、名詞として働きながら、動詞のように目的語を取ったり、修飾語を伴ったりすることができる。

Pair 1

Reading interesting books slowly takes time.

おもしろい本をゆっくり読むことには時間がかかる。
この文の主語は Reading interesting books slowly という動名詞句全体である。

句の内部では、books が Reading の目的語であり、interesting は books を説明している。また、slowly は「ゆっくりと」という意味で、読む動作の様子を表している。

したがって、動名詞句の中に目的語や修飾語があっても、**動名詞句全体は 1 つの名詞のまとまりとして働く**。

また、動名詞が表す動作を誰が行うのかは、文脈から分かることがある。

Pair 1

I enjoy reading stories at night.

私は夜に物語を読むことを楽しむ。
この文では、reading stories という動作をするのは、文の主語である I だと自然に分かる。

動名詞そのものに主語が書かれていなくても、文全体の意味から動作の主体を読み取れる場合がある。

注意

進行形との違い

動詞の -ing 形は、動名詞以外にも使われる。既習の進行形では、be 動詞 + -ing 形 が動作の進行を表す。

Pair 1

She is reading books now.

彼女は今、本を読んでいる。
この文の is reading は「読んでいる」という進行形の動詞であり、reading を名詞として使っているわけではない。

一方、Reading books is fun. では、Reading books 全体が主語として働く。

どちらにも reading が含まれるが、**-ing 形の見た目だけでなく、文の中での働きを確認する**ことが大切である。

5. 例題

1

次の英文の空所に入る最も適切な語句を選べ。

(　　) helps me relax after school.

A. Read short stories

B. Reads short stories

C. Reading short stories

D. To reading short stories

解答・解説

正解：C

Pair 1

Reading short stories helps me relax after school.

短い物語を読むことは、放課後の私の気持ちを落ち着かせてくれる。
relax は「くつろぐ・気持ちが落ち着く」という意味である。

空所の後ろには helps という動詞があるため、空所にはその主語となる語句が必要である。

「短い物語を読むこと」という動作を主語にするには、動詞 read の動名詞 reading を使う。

Reading short stories 全体が主語になり、helps につながる。したがって C が正解である。

各選択肢の検討

A. Read short stories は動詞の原形で始まる語句であり、この位置で文全体の主語として働く動名詞句にはならない。

B. Reads short stories は動詞の三人称単数現在形で始まる。主語となる「読むこと」を表す形ではない。

C. Reading short stories は「短い物語を読むこと」を表す動名詞句であり、helps の主語として働く。

D. To reading short stories は、to 不定詞の to と動名詞の reading を混同した形である。to 不定詞なら to read となるが、この選択肢はその形になっていない。

2

次の英文の空所に入る最も適切な語句を選べ。

She learns new words by (　　) every evening.

A. reading stories

B. read stories

C. to read stories

D. reads stories

解答・解説

正解：A

Pair 1

She learns new words by reading stories every evening.

彼女は毎晩、物語を読むことで新しい単語を学ぶ。
空所の直前にある by は、ここでは「〜することで」という手段を表す前置詞である。

前置詞の後ろには名詞の働きをする語句を置くため、「物語を読むこと」は reading stories と表す。

reading は動名詞であり、stories はその動作の対象である。by reading stories 全体が、どのように単語を学ぶのかを説明している。

各選択肢の検討

A. reading stories は動名詞句であり、前置詞 by の後ろに置くことができる。

B. read stories は動詞の原形から始まる語句であり、この文の by の後ろで動作を名詞として表す形にはならない。

C. to read stories は to 不定詞だが、手段を表す前置詞 by の直後には置けない。

D. reads stories は三人称単数現在形の動詞から始まるため、前置詞の目的語として使う形ではない。

6. 演習問題

次の各問について、空所に入る最も適切な語句を A〜D から 1 つ選べ。

1

(　　) makes my sister happy on rainy days.

A. Draw pictures

B. Drawing pictures

C. Draws pictures

D. To drawing pictures

2

Mika enjoys (　　) with her classmates after school.

A. play chess

B. plays chess

C. to playing chess

D. playing chess

3

Her favorite activity is (　　) in the garden.

A. grow flowers

B. grows flowers

C. growing flowers

D. to growing flowers

4

We practice (　　) before the school concert.

A. singing together

B. sing together

C. sings together

D. to singing together

©ミライコーチング

5

I learn new words by (　　) English songs.

A. listen to

B. listens to

C. listening to

D. to listen to

6

After (　　) dinner, we washed the dishes.

A. eat

B. to eat

C. eats

D. eating

7

She left the room without (　　) goodbye.

A. say

B. saying

C. to say

D. says

8

He is good at (　　) simple pictures.

A. drawing

B. draw

C. draws

D. to draw

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解：B

Pair 1

Drawing pictures makes my sister happy on rainy days.

雨の日に絵を描くことは、私の姉（妹）を幸せな気持ちにする。
空所は動詞 makes の前にあるため、主語となる名詞のまとまりが必要である。Drawing pictures は「絵を描くこと」を表す動名詞句であり、文全体の主語になる。

A. Draw pictures は動詞の原形で始まる語句であり、この位置で主語になる動名詞句ではない。

B. Drawing pictures は動名詞句であり、主語として正しく使われている。

C. Draws pictures は三人称単数現在形の動詞で始まるため、「絵を描くこと」という主語にはならない。

D. To drawing pictures は to 不定詞の形になっていない。to 不定詞なら to draw pictures となるが、この選択肢はその形ではない。

2

正解：D

Pair 1

Mika enjoys playing chess with her classmates after school.

ミカは放課後、クラスメートとチェスをすることを楽しむ。
enjoy は後ろに動名詞を目的語として置く動詞である。そのため、playing chess を使う。chess は「チェス」という意味であり、playing chess 全体が楽しむ対象を表している。

A. play chess は動詞の原形から始まる語句であり、enjoy の目的語として使う形ではない。

B. plays chess は三人称単数現在形の動詞から始まるため、enjoy の目的語にはならない。

C. to playing chess は、to 不定詞としても正しい形ではなく、enjoy の後ろに置く形にも合わない。

D. playing chess は動名詞句であり、enjoys の目的語として正しい。

3

正解：C

Pair 1

Her favorite activity is growing flowers in the garden.

彼女の一番好きな活動は、庭で花を育てることだ。
activity は「活動」という意味である。

空所は be 動詞 is の後ろにあり、主語 Her favorite activity の内容を説明している。この位置では、動名詞句 growing flowers を補語として使うことができる。

A. grow flowers は動詞の原形から始まる語句であり、この文で必要な名詞的な補語の形ではない。

B. grows flowers は三人称単数現在形の動詞から始まるため、主語の内容を説明する補語にはならない。

C. growing flowers は「花を育てること」という動名詞句であり、主語の内容を表す補語として適切である。

D. to growing flowers は to 不定詞の正しい形ではない。to 不定詞なら to grow flowers となるが、この選択肢はその形ではない。

4

正解：A

Pair 1

We practice singing together before the school concert.

私たちは学校のコンサートの前に、一緒に歌う練習をする。
practice は「練習する」、concert は「コンサート」という意味である。

この文では、何を練習するのかを表す目的語が必要である。動詞 practice は、練習する動作を表す語句として動名詞を目的語に取るため、singing together が正解となる。

A. singing together は「一緒に歌うこと」を表す動名詞句であり、practice の目的語として使える。

B. sing together は動詞の原形から始まる語句であり、この文の practice の直後に置く目的語の形としては適切でない。

C. sings together は三人称単数現在形の動詞から始まるため、practice の目的語にはならない。

D. to singing together は to 不定詞としても正しい形ではなく、practice の後ろに必要な動名詞にもなっていない。

5

正解：C

Pair 1

I learn new words by listening to English songs.

私は英語の歌を聞くことで新しい単語を学ぶ。
by は手段を表す前置詞であり、後ろで動作を表すには動名詞を使う。listen to は「〜を聞く」という意味で、動名詞にすると listening to となる。

A. listen to は動詞の原形から始まるため、前置詞 by の後ろで必要な形ではない。

B. listens to は三人称単数現在形の動詞から始まるため、前置詞の目的語として使えない。

C. listening to は動名詞を使った形であり、by の後ろに置いて「〜を聞くことで」という手段を表せる。

D. to listen to は to 不定詞から始まる語句であり、この文では前置詞 by の直後に置けない。

6

正解：D

Pair 1

After eating dinner, we washed the dishes.

夕食を食べた後、私たちは食器を洗った。
after は「〜の後で」を表す前置詞として使われている。後ろには eating dinner という動名詞句を置き、「夕食を食べた後で」という意味を作る。

A. eat は動詞の原形であり、この文で前置詞 after の後ろに置く形ではない。

B. to eat は to 不定詞であり、この文では前置詞 after の直後には置けない。

C. eats は三人称単数現在形の動詞であり、ここで前置詞の目的語として働く形ではない。

D. eating は eat の動名詞であり、eating dinner 全体が前置詞 after の目的語として働く。

7

正解：B

Pair 1

She left the room without saying goodbye.

彼女はさようならも言わずに部屋を出た。
without は「〜なしで・〜せずに」を表す前置詞である。saying goodbye は「さようならを言うこと」を表す動名詞句なので、without saying goodbye で「さようならを言わずに」という意味になる。

A. say は動詞の原形であり、前置詞 without の後ろで必要な動名詞の形ではない。

B. saying は say の動名詞であり、without の後ろに置く形として適切である。

C. to say は to 不定詞であり、この文では前置詞 without の直後に置けない。

D. says は三人称単数現在形の動詞であり、前置詞の目的語として使う形ではない。

©ミライコーチング

8

正解：A

Pair 1

He is good at drawing simple pictures.

彼は簡単な絵を描くことが得意だ。
be good at は「〜が得意である」という意味である。at は前置詞なので、その後ろで動作を表すには動名詞を使う。

drawing simple pictures は「簡単な絵を描くこと」を表す動名詞句であり、前置詞 at の目的語になっている。

A. drawing は draw の動名詞であり、at の後ろに置く形として正しい。

B. draw は動詞の原形であり、この文では前置詞 at の後ろにそのまま置けない。

C. draws は三人称単数現在形の動詞であり、前置詞の目的語として使う形ではない。

D. to draw は to 不定詞であり、この文では前置詞 at の直後に置けない。